

ダダチャマメ系新品種の開発

阿部 利徳

客員教授

ABE, Toshinori



キーワード： ダダチャマメ，新品種，耐病性

専門分野： 植物遺伝・育種学

連絡先Email： wxfhr710@ybb.ne.jp

研究内容

新品種の主な特性

- ・ **アベチャ 33**： この品種は白山ダダチャに γ 線を照射した後代から大粒変異系統として選抜したもので、種子重が10%重く、100粒重が28gあり、また白山ダダチャと比較して主茎長が5 cm長く、さらに開花期および収穫期が4日遅い中生の品種である。多収であり、成分・品質は白山ダダチャと同様で、糖は約4.5%含有し、良食味である。エダマメ生産の立場からのメリットとして、収穫期の幅を拡大するのに有効である。
- ・ **アベチャ119**： この品種は、尾浦と黒崎茶豆の交雑後代より選抜した品種で、開花期が中の早で黒崎茶豆より3日程度遅く7月上旬であり、8月10日頃に収穫ができる。主茎長は黒崎茶豆と尾浦の間であり、1株莢数も多く、着莢密度が約1.4で密である。100粒重は黒崎茶豆と尾浦の間であり、種子は扁楕円形で軽微な皺がある。エダマメ子実の糖は約4.5%以上で多く、良食味である。赤カビ病抵抗性である。
- ・ **アベチャ212**： この品種もアベチャ119と同様に尾浦と黒崎茶豆の交雑後代より選抜した品種で、開花期が中の晩で尾浦と同様7月下旬であるが花色は尾浦と異なり白色であり、8月下旬から9月上旬に収穫ができる。主茎長は黒崎茶豆と尾浦の間であり、1株莢数が多く80個以上であり、着莢密度が約1.7と密である。100粒重は約30gであり大粒で、種子には軽微な皺が認められる。1株莢重が重く、収量性が高い。赤カビ病抵抗性であり、発芽率も高い。

・ 完熟粒の外観



白山ダダチャ アベチャ33



アベチャ119 アベチャ212

・ 莢肥大期の草姿



白山ダダチャ アベチャ33

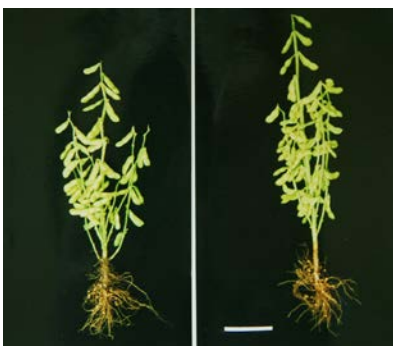
ダダチャマメ系新品種の開発と品種登録

品種登録済：アベチャ33；

品種登録済：アベチャ119

・ 新品種の莢付き株の外観

：アベチャ212



白山ダダチャ アベチャ33



アベチャ119 アベチャ212